先輩・後輩、心一つに

吹奏楽部50周年　記念演奏会は大盛況

𝄋ダンダカ、ダンダ、ダッ、ダ、ダ、…♪、#ダンダカ、ダンダ、ダッ、ダ、ダ、…♪

心地良いリズムが静岡駅前AOI音楽館会場に響き渡る。どこかで聞いたことのあるリズム、そう、一九五九年、現在の天皇陛下の御成婚を祝して作曲された『祝典行進曲』の出だしの一部。思わず皆で歩きたく、行進したくなる曲が力強く響く。

〝老い〟も〝若き〟も超越。合同演奏会は大いに盛り上がった＝静岡音楽館AOI

吹奏楽部31期（95期）の風間大介指揮のもと、五〇年前創部したときに尽力した先輩から、昨年卒業したばかりのOB、OG六〇人による即席楽団の演奏。これは静高吹奏楽部創立五〇周年を記念しての演奏会で八月一八日に開かれた。

「選曲がよく、即席楽団どころではない。よく合ってるし、まとまり、リズム感がいい」と視聴者。映画『天地創造』のメインテーマほか序曲・舞曲など五曲を演奏、拍手喝采を受けていた。

「現役を離れてほぼ五〇年、大丈夫か」と心配する同期・同窓生をしりめに、クラリネットの大島輝男が大阪から、トランペットの仁科光司が東京から駆けつけ、地元の花村征三郎がトロンボーンで77期生も出演。

演奏会二日前から音合わせを兼ね猛特訓、練習会では「オイオイまるで付いて行けないよ」と嘆いていた仁科も本番はすっきり。先輩、同期、後輩一緒に演奏できたことに満足気、快感を覚えているよう。

満員盛況、当日券を求める客が並ぶほどの演奏会が、OBステージでは演奏者の八割が男性、が、現役演奏になると、「男の子は七人しかいませんでしたよ」と、わざわざこの演奏会のために出かけてきた静高ファンの女性、時代の趨勢を感じていた。現役の演奏の最後にはOB合同の曲もあり最後まで盛り上がり楽しませていた。

なお静高吹奏楽部から羽ばたいた音楽家として野田美佳（吹奏部29期）夫婦によるマリンバとピアノのゲスト演奏があり聴く人の心をなごませていた。

さらに同期生では丁度東京から叔母さんの介護のため帰省していた石間啓一はじめ、天野邦久、望月浩、村松らが視聴した。（文中敬称略）

（77期　村松貴彦）

OB文化祭

ジャス、楽しいぜ

団塊世代が〝実力〟披露

八月一八日の静高吹奏楽部の五〇周年記念演奏会のための練習に何度か参加するうち、現役の文化祭当日　ここ何年か卒業生も同窓会館で、何か行うという、OB文化祭なるものが催されているとのことでした。今年は記念演奏会を予定している吹奏楽部でやらないか、と言うお話にまず83期（吹奏楽部9期）の小柳君（Sax）が飛びつき、同期の服部君（Tp）、同じく私林（Drs）が賛同しぜひやらせてもらいましょうということで小さな演奏会を行いました。

私たち三人が日ごろやっている音楽は、モダンジャズと呼ばれるものでまだまだ実際に演奏する人たちは少ない比較的マイナーな音楽であり、この三人だけでは体裁整わないのでまずピアノを82期（吹奏楽8期）の武田さんに協力をお願いし、ベース奏者は静岡では見つからず、服部君の友人の下條さんに東京から、ボーカルに林、友人のT．J．さんに特別に参加していただき実施できることになりました。

いったい何人来てもらえるのか、どのような人たちに聴いてもらえるのかまったく分からないまま、とりあえずジャズなどほとんど聞いたことの無いであろう高校生諸君に分かりやすいものにしようということで、服部君の企画による、分かりやすくて、有名なジャズのスタンダードと呼ばれる曲ばかりで構成されたミニコンサートになりました。

さて、当日、本番。前宣伝いただいたおかげで一〇〇名を超えるお客様に来ていただき、ばたばたと準備した苦労も報われようという物です。われわれ程度の腕前でも、それなりにお客様に喜んでいただけたようですし、T．J．さんのユーモアあふれる進行もあって、一時間一〇分われわれもお客様も楽しい時間がすごせました。いつもは、お酒が入った状態で演奏しているのにひさしぶりに昼間、明るい会場で演奏して学生のころに戻ったような緊張感があり、興奮させられました。願わくば今回のOB文化祭が皆様の記憶に残るような演奏であったら幸いと思います。（83期　林　敏郎）

軽快なジャズ演奏で聴衆を魅了したOBクインテット＝静高同窓会館

中止の危機を乗り越え

静岡県青年の船　尽力の藤田氏（64期）囲む会

全国に先がけて「静岡県青年の船」としてスタートしたのは昭和四三年の歳末に沖縄の地を踏んだのが最初。早いもので四〇年の節目を迎えたので県青年の船に乗船、苦楽をともにした若者（当時）が一堂に集まり話し合おう、またその船の陰で支えてきた一人藤田栄さん（本校64期、同窓会常任理事）を囲む会が、船が出航した思い出の地、静岡市清水日の出埠頭のマリンターミナルで一〇月七日、開催。

青年の船は、当初は「海上青年大学」といわれ、海上での各種の研修、共同学習を通じ社会連帯を強め、また海外を視察して国際的を広めるのが目的。

最初は波之上丸のような定期船を利用、一般乗客も一緒に乗船、その後には大型チャーター船で清水港から出航、目的地もマニラ、香港、上海へと足を延ばした。

藤田さんは第一回目から県青年の船に協力、カメラマン、記者を同行、マスコミに青年の現地のもようを報道するよう協力。藤田さん自身も第八回、第九回と講師として乗船、第一〇回は副学長として香港から一三〇人の研修生を連れてベトナムのホーチミンを視察案内役をして喜ばれていた。

順調であったこの青年の船も緊縮財政のあおりをくらって三二回の船をもって補助金が全額カットとなり、一時中止せざるを得なくなった。

しかし「青年の船の灯を消すな」と若者たちが立ち上がり、「青年の青年による青年のための青年の船」のことばで今日まで続いて今年の船は三九回目を迎える。

藤田さんはこの六年間、毎年暮から正月にかけ青年とともに韓国に行き済州島で元旦を迎えたり、万里の長城で青年たちと気勢をあげたり青年たちを励ましつづけている。

そこで船で苦楽を共にした青年の仲間と藤田栄さんを囲む会を開くことになった。

藤田さんは「若い人たちと会えるのが楽しみだ。これら船に乗った若者が日本の将来をきっと背負ってよい国に育ててくれると思う」と。

実行委員長狩俣博之さんは「僕たちのこと思って藤田さんは陰になり面倒をみてくれてきた。静岡県の青年団にどれほど多くの力を与えて下さっていることか」とのべている。

万里の長城で青年たちと藤田栄さん（右から二人目）

ソフトウェア開発の
エクセレントカンパニー
ISO9001:2000年版認証取得
プライバシーマーク（JISQ15001:1999付与認定）
株式会社 ユニテック
代表取締役　鈴木　佐太郎（81期）
420－0911　静岡市葵区瀬名1－18－33
TEL 054－264－1111　FAX 054－264－7771
東京・沼津・長野　　http:// www.unitec.jp
【経済産業省】
システムインテグレータ登録
システム企業監査台帳登録
ISO9001認証企業
プライバシーマーク認定企業

俄　美しいフィルムとデザインで和の心を表現

輪　チタン素材で付け心地抜群

ブライダル　コレクション
宝石・時計・メガネ・金地金販売
コーラルベル
㈱ラフィーネサガワ
静岡市葵区呉服町2-1-9 呉服町プラザビル1F
佐川 博（84期）・佐川里美（88期）
054－252－1818